



梅花女子大学図書館

# Baika Library Times

## 沙翁のいた日々

国際英語学科助教授 上村幸弘

ロンドン・テムズ川南岸のサザック地区バンクサイドに白壁造りの奇妙な建物がたつ。1997年に再建された「シェイクスピア・グローブ座」である。この劇場の歴史は16世紀末にさかのぼる。シェイクスピアが座付き作家を勤めたことでも知られるグローブ座が建てられたのは1599年。その後、1613年に火災にあい、すぐに再建されたものの、30年後にはピューリタン（プロテスタント過激派）によって打ち壊された。爾来、グローブ座は300年以上この地表からその姿を消す。

1989年、シェイクスピア研究者たちに衝撃が走る。バンクサイド再開発の工事現場から、グローブ座の遺構が一部発見されたのである。1階の観客席を形成する基礎石の接合部が発掘されたのであるが、壁と壁の接合部角度が162°であることがわかった。これにより、最終的なグローブ座の建築構造がほぼ円形に近い正20角形であることが判明したのである。

謎につつまれたグローブ座の正体については、専門家の間でその建築構造を巡って数々の仮説が存在した。その中でも、建築学的に安定した構造と言われる8角形・16角形・24角形（8の倍数）などが有力視されていたが、この考古学上の成果は、そのいずれの学説をも覆した。

本学図書館の北棟5階英米文学のフロアーに「グローブ座模型」が展示されていることを知る人は少ない。この模型は、20世紀半ばの研究家J・C・アダムズの仮説に基づいたかなり正確なものであるが、今から40年も前に本学の学生諸姉によって作成された劣作である。この模型の最大の特徴は、16世紀の細密画（エッチング）にも見られる8角形の構造で、ニューヨークのフォルジャー・シェイクスピア図書館に所蔵されている模型とほぼ同じ造りになっている。その意味において、本学英米文学科のシェイクスピア研究は、半世紀前に世界的なレベルに達していたといえる。

また、本学図書館のシェイクスピアに関する蔵書も、私の見る限り国内の大学図書館の平均的な蔵書数を遥かに凌ぐ規模である。個人作家として本学図書館の開架式書棚を2列も占有しているのは、この劇作家以外にはないだろう。恐らく、その資産価値だけでも数億円に達していよう。しかし、昨今の大学改革の流れの中で、「英文学」を正統に研究する学科が廃止され、その資産の恩恵に浴する学生がいなくなる。シェイクスピア研究者の端くれとして心底寂しい思いもあるが、やむを得ない。

沙翁（シェイクスピア）よ、あなたもついに老いさらばえたか。あなたに関する「蔵書」の老後をケアすることが、当分の間、私の仕事となりそうです。「あとは、沈黙」（『ハムレット』5幕2場）

### 目次:

沙翁のいた日々	1
図書館のコンピュータがハード、ソフトともにリニューアルしました！	2
Literature Resource Center	4
2004年度前期ガイダンスの報告と今後	5
2004年度後期 図書館展示と講演会のお知らせ	6
学園資料室展示	6
資料紹介	7
新収資料から	8

## 図書館のコンピュータがハード、 ソフトともにリニューアルしました！



この夏休みを利用して、図書館内にあるコンピュータとそこで使われるソフトウェアを一新しました。今回皆さんが利用するハード部分のすべてが最新モデルに変わり、OPAC端末12台、利用者端末等24台と台数も増えました。またハードの入れ替えに伴い、ソフト面でもバージョンアップが図られましたので、その内容を簡単に説明しましょう。

まずは図書館で最も利用の多い「OPAC端末」からです。

OPACとは、Online Public Accesses Catalogの略で、オンライン利用者用目録と呼ばれるシステムです。館内に置かれているOPAC端末からはもちろん、図書館のホームページからもリンクされています。探している資料が梅花の図書館にあるかを調べるにはまずこの端末で検索するのですが、今回この専用端末12台がリニューアルしました。これらの端末は、3階フロアに6台、2階に2台、4・5・6階の各フロアに1台ずつが置かれています。(インターネット等の利用には使用できません。)使い方がわからないときは、各画面に用意されている「操作方法ヘルプ」や、館内であれば備え付けの「検索の手引き」をご参照ください。または、レファレンスカウンターの司書にもお気軽にお尋ねください。



OPAC端末  
< 3F >

### マルチメディア閲覧コーナー



次にこれも利用の多い「利用者端末」と呼ばれるコンピュータです。

マルチメディア閲覧コーナーに17台が置かれています。これらはインターネットへの接続が可能で、図書館のホームページからさまざまなオンラインデータベースにアクセスすることができます。例えば、672万件の雑誌記事情報に、戦後国内の学術団体が刊行した人文社会系の年次研究報告や学術論文集8000冊、47万件の論文タイトル情報を加えた、総計719万件にのぼる国内最大の雑誌・論文情報データベースである「MAGAZINE PLUS」や国立国会図書館や海外の図書館にもアクセスすることができます。

ただし今回のリニューアルに伴い、少し接続方法が変わりました。受付手続きを済ませたあと、コンピュータの電源をオンにすると初期画面で「ユーザー名」と「パスワード」を訊いてきます。これらが必要ですので、もしまだ自分のユーザー名とパスワードがわからない場合は、事前に学生証を持ってL棟7階のメディアセンターに尋ねてください。あとはこれまでと同じようにコンピュータを利用することができます。

第9号

17台の内4台は、「CD-ROM版 朝日新聞」「CD-ROM版 毎日新聞」「大宅壮一文庫雑誌記事索引」「A C D S e e」優先端末となっています。これらの電子資料を利用される時には申し出てください。



左：聞蔵 右：Bai-Lis

カウンター前の2台のコンピュータも新しくなりました。朝日新聞記事検索用データベース「聞蔵」用の端末と図書館利用案内「Bai-Lis」用端末です。これらも図書館をより一層活用するために、お気軽にご利用ください。



今回から新しいコンピュータも加わりました。先の利用者端末に、新たに5台の「Microsoft Office」が利用いただけるコンピュータが増えました。これまで図書館内では個人閲覧室などを除くオープンスペースでは、電源や、他の利用者の方への配慮という面において、個人のパソコン利用は禁止していました。



Microsoft Office端末  
< 6F 閲覧個室 >



Microsoft Office端末  
< マルチメディア閲覧コーナー >

しかし、図書館資料を使っての論文作成や資料整理のために、WordやExcelを使用したいとの要望が近年増えてきました。そこで今回、マルチメディア閲覧コーナーの一角と6階閲覧個室No.7、8、9にこれらのソフトを利用できるコンピュータを置くことになりました。Microsoft Office Professional Edition 2003がインストールされており、Word、Excel以外にもAccessやPowerPointなども利用することができます。



なお、今回のリニューアルに伴って、図書館内でも学生会館同様に無線LANが利用できるフロアを準備中です。近日中に3階と6階で、無線LANに対応したノートパソコンを持ち込み、インターネットに接続することができるようになります。お楽しみに。

## Literature Resource Center



4月以降、図書館のホームページに新しい英文のデータベース“Literature Resource Center”が仲間入りしました。

世界で有数のレファレンス出版社“Gale”社が提供する冊子体の文学レファレンス資料が統合されたデータベースです。画面をクリックするだけで、多様な情報を簡単に引き出せます。

当館所蔵の“Contemporary Authors”, “Dictionary of Literary Biography”, “Shakespearean Criticism”, “Children’s Literature Review”などを含めたレファレンス・ブック約20タイトルに収録された作家・詩人・エッセイスト・ジャーナリストなどの論文形式の人物情報約122,000件、作品解説・文学的評論約38,000件を含む詳細な情報が、収録されています。その他にも、約250タイトルの逐次刊行物に掲載された文学関連記事のフルテキストも含んでいます。



名前・国籍・生没年・出生地・職業・作品名・ジャンル・文学史上のトピック・テーマ・時代区分など様々な角度から複合的に検索出来るような機能を備えています。キーワードを入力するだけで膨大な量のデータベースから瞬時に検索結果を見る事ができ、あなたの研究テーマに広がりをもたせ、調査や文献収集に必ず役に立つ筈です。学内のみからの検索利用になりますが、是非一度お試し下さい。

The screenshot shows the Literature Resource Center website interface. At the top, there's a navigation bar with "Baika Women's University" and "Literature Resource Center" logos. Below that, there are search options like "Author Search", "Title", and "Keyword". A "Spotlight on..." section features a profile for R. L. Stevenson with a quote: "No human being ever spoke of scenery for above two minutes at a time, which makes me suspect we hear too much of it in literature." The footer includes the Thomson Gale logo and copyright information: "Copyright © 2004 Gale Group. All rights reserved."

Literature Resource Center のトップページ

## 2004年度前期ガイダンスの報告と今後

今年度前期では、授業中に23回・延べ参加者519名のガイダンスを行うことができました（下表参照）。昨年度前期では20回・同458名（1年間では27回・同682名）。図書館主催の各種ガイダンスは合計10回・同13名でした。

今年度は、前期に図書館主催の各種ガイダンスを実施することができませんでしたが、この授業の中で実施させていただいたガイダンスにより、OPACの検索方法、インターネットやデータベースによる情報探索法を習得された方の数は、昨年度に比べ10%強増えました。

OPACやインターネットのサーチエンジンで検索する時、何か「単語」を入力すると大抵の場合、何らかの検索結果一覧が表示されます。ここまでは、ガイダンスで説明を受けなくてもできることです。ヒットした中から「自分にとって有効な情報、正しい情報はどれか」を見極める方法やそれに辿り着く適切な方法をガイダンスでご紹介できればと考えています。現在のところ、いずれのガイダンスでも基本的な部分の説明しかできていません。今後もガイダンスを依頼される先生、またされない先生方ともコミュニケーションをとりながら、図書館の行うガイダンスに何を求められているのかをよく理解し、また皆さんにお配りするマニュアルを見直し、よりわかりやすい説明の方法を鋭意検討していきます。

[表：2004年度前期実施ガイダンス]

	実施日	講時	学科	学年	参加人数	内 容					
						倫理	ツアー	利用法	OPAC	Web	その他
1	4月12日	月 2	英語コミュニケーション	1年生	19						
2	4月14日	水 1	英語コミュニケーション	1年生	20						
3	4月14日	水 3	英語コミュニケーション	1年生	21						
4	4月15日	木 3	日本文化創造	1年生	17						
5	4月15日	木 4	児童文	1年生	43						
6	4月20日	火 2	日本文化創造	1年生	21						
7	4月20日	火 4	日本文化創造	1年生	15						
8	4月21日	水 1-A	人間福祉	1年生	45						
9	4月21日	水 1-B	人間福祉	1年生							
10	4月21日	水 3	人間福祉	1年生		34					
11	4月22日	木 4	生活環境	1年生	10						
12	4月23日	金 2	生活環境	1年生	11						
13	4月26日	月 3	生活科	1年生	19						
14	4月27日	火 2	児童文	1年生	22						
15	4月28日	水 1	人間福祉	1年生	37						
16	4月28日	水 3	人間福祉	1年生	35						
17	5月12日	水 3	日本文化創造	1年生	22						
18	5月19日	水 4	(文献探索)	主に1年生	40						
19	5月19日	水 5	(文献探索)	主に1年生	33						
20	5月21日	金 3	人間福祉	4年生	15						
21	6月28日	月 3	生活科	1年生	14						
22	7月2日	金 4	人間福祉	3年生	13						
23	7月9日	金 4	人間福祉	3年生	13						
合 計					519	4	10	10	22	18	4

注) 1-A、1-Bは1講目の時間に45名の学生を2グループに分け、入替えて2回実施。

「情報倫理のビデオ視聴」はメディアグループが担当。

参加人数には、教員数を含んでいません。

内容 倫理：情報倫理のビデオ視聴、ツアー：図書館内ツアー、利用法：図書館利用法全般、OPAC：OPAC検索方法、Web：インターネットによる情報探索、その他：「聞蔵」等データベース、CD-ROMの利用法等

## 2004年度後期 図書館展示と講演会のお知らせ

### 図書館3階展示コーナー

#### 「シェイクスピア時代の古版本展」

展示期間：10月12日（火）～12月24日（金） 無料

16世紀末のロンドン。テムズ川南岸のサザック地区には芝居小屋が立ち並び、商都ロンドンの繁栄を文化面から支える一大歓楽街の様相を呈していました。ここで上演された演目は、たちまちのうちに海賊版が出てくるなど、出版業界の争いも熾烈で、活版印刷技術が定着して間もない頃の職人たちの勢いが、古版本の各所に表れています。

#### 梅花女子大学図書館公開講座

#### 「シェイクスピアの古版本と上演台本」

講師：梅花女子大学 文化表現学部 国際英語学科助教授 上村幸弘

日時：11月30日（火）14:40～16:10

受講料：1,000円 梅花学園生涯学習センター会員は無料

場所：梅花女子大学 F棟

展示に関するお問い合わせ：梅花女子大学図書館メインカウンターまで  
公開講座に関するお問い合わせ・お申し込み：梅花学園生涯学習センターまで

### 学園資料室展示

#### 梅花学園の歴史

梅花は、大阪における最初の女学校として、当時の大阪市西区土佐堀裏町に、1878（明治11）年1月誕生しました。キリスト教主義教育を建学のモットーとし、「愛なる女学校」を目指しました。創立者澤山保羅の精神を受け継ぎ、今日まで女子教育に取り組んでいます。

展示ホールでは、卒業アルバムの中から選んだ写真を展示しています。ゆっくりと歴史の流れをご覧ください。



1929年女子専門学校国文科教室風

展示時間：9:00～16:00（月～金）

## 資料紹介

### 『ひらいてみよう 古典の小箱』

梅花女子大学日本文化創造学科編 勉誠出版発行 2004年7月刊  
 (所在: 4階北 請求記号: 910.2#B14)

日本文化創造学科教授 三木雅博

この書物は、古典の世界を気軽に訪ねて、そのおもしろさを知ってもらおうという趣旨で作りました。特に古典離れが進む若い世代のことを考えて、原文の引用は極力おさえて、図版や写真を多く添え、古文や漢文が読めなくても、楽しく古典の世界に親んでもらえるように工夫がされています。

扱われているのは、『古事記』『竹取物語』『源氏物語』『今昔物語』『平家物語』『おとぎ草子』『曾根崎心中』、それに『論語』『史記』や唐詩といった「漢文の世界」まで、教科書などでよく取り上げられる定番中の定番の古典ばかりです。日頃、梅花女子大学で古典関係の講義を担当している先生たちが、解釈や文法を中心に説明する高校の授業とは違った専門家の視点から、それぞれの作品にどんなナゾが隠れているのか、どんなメッセージが込められているのかをわかりやすく解説し、時代を超えた古典のおもしろさに迫ります。またコラムでは、肩の凝らないさまざまな古典の話題を取りそろえて紹介しています。古典になんとか興味はあるけれど、古文や漢文を読むのはちょっと…という方、ぜひ図書館で本書を手にとって「ひらいて」みてください。

#### (内容と執筆者)

絵本「いなばの白ウサギ」の謎(市瀬雅之) / 「かぐや姫」の五人の求婚者たちはどこから来たのか? - 『竹取物語』とチベット民話「

パンブークーニャン

斑竹姑娘」との不思議な関係(三木雅博) / 「光源氏」って何のこ

と?(中川正美) / 都の暮らしあれこれ 『今昔物語集』の世界(馬

田綾子) / 平清盛 “悪” が輝いた時代の主人公 - 『平家物語』に描か

れた清盛をめぐる人間ドラマ(柳田洋一郎) / プレイボーイにいっぱい

食った浮気女の失敗譚 - おとぎ草子『音無し草子』を読む(高橋喜

一) / 恋の手本「曾根崎心中」(荻田清) / 生き方を教えてくれる漢文

の世界(菅本大二)

#### (コラム)

即興で歌を創ろう / 奈良時代の「いじめ」? / 平安時代の文字遊び / シ

おんなざみ

ンデラストーリーの女 君たち / 枕草子には、負けないわ / 干魚の正

体 / 「くその小路」と「錦小路」 / “女武者” と “童” / 「妙音を奏で

るおならこきの名人」(おとぎ草子『福富草紙』) / 「きんぴら」と「助

六」 / 《漫画》 / 「馬鹿の話」



# B.L.T

# Baika Library Times

(年2回刊 4月,10月)

B L T 第9号をお届けします。

巻頭に、国際英語学科の上村先生から「沙翁のいた日々」と題して興味深いお話をいただきました。ありがとうございました。

図書館3階展示コーナーでは、図書資料と共に「第2次グロープ座の復元模型」の展示も行っております。この機会にぜひご覧ください。

今回、日本文化創造学科の三木先生から同学科編『ひらいてみよう 古典の小箱』をご紹介いただきました。読書によるよい季節となりました。ご一読ください。

## 梅花女子大学図書館

〒567-8578  
大阪府茨木市宿久庄2-19-5

### 図書館

電話 072-643-8498

Fax 072-643-1952

Email [blibrary@baika.ac.jp](mailto:blibrary@baika.ac.jp)

### 学園資料室

電話 072-643-8447

Fax 072-643-1952

Email [shiryo@baika.ac.jp](mailto:shiryo@baika.ac.jp)



図書館ホームページ

URL <http://www.baika.ac.jp/lib>

## 新収資料から

### 日本現代小説大事典

浅井清・佐藤勝編 明治書院 2004.7刊

(所在：3階辞書・事典, 4階北 請求記号：913.6#N71)

本事典は、「作品編」「作家編」よりなり、明治・大正・昭和・平成にわたる近・現代の日本文学の小説作品・作家について、およそ2200点の作品、及び1500名の作家について解説しています。

小説概念を幅広くとらえ、自伝・伝記・ノンフィクション・エッセイといったものまで網羅し、特に最近の作家・作品に相当な重点をおき、各作品の「あらすじ」と「みどころ」の両方を掲載し、読みやすく平易に編集されています。

皆さんが読んでみたいと思う作品にきっと出会えるきっかけを与えてくれる文学事典になる事と思います。

